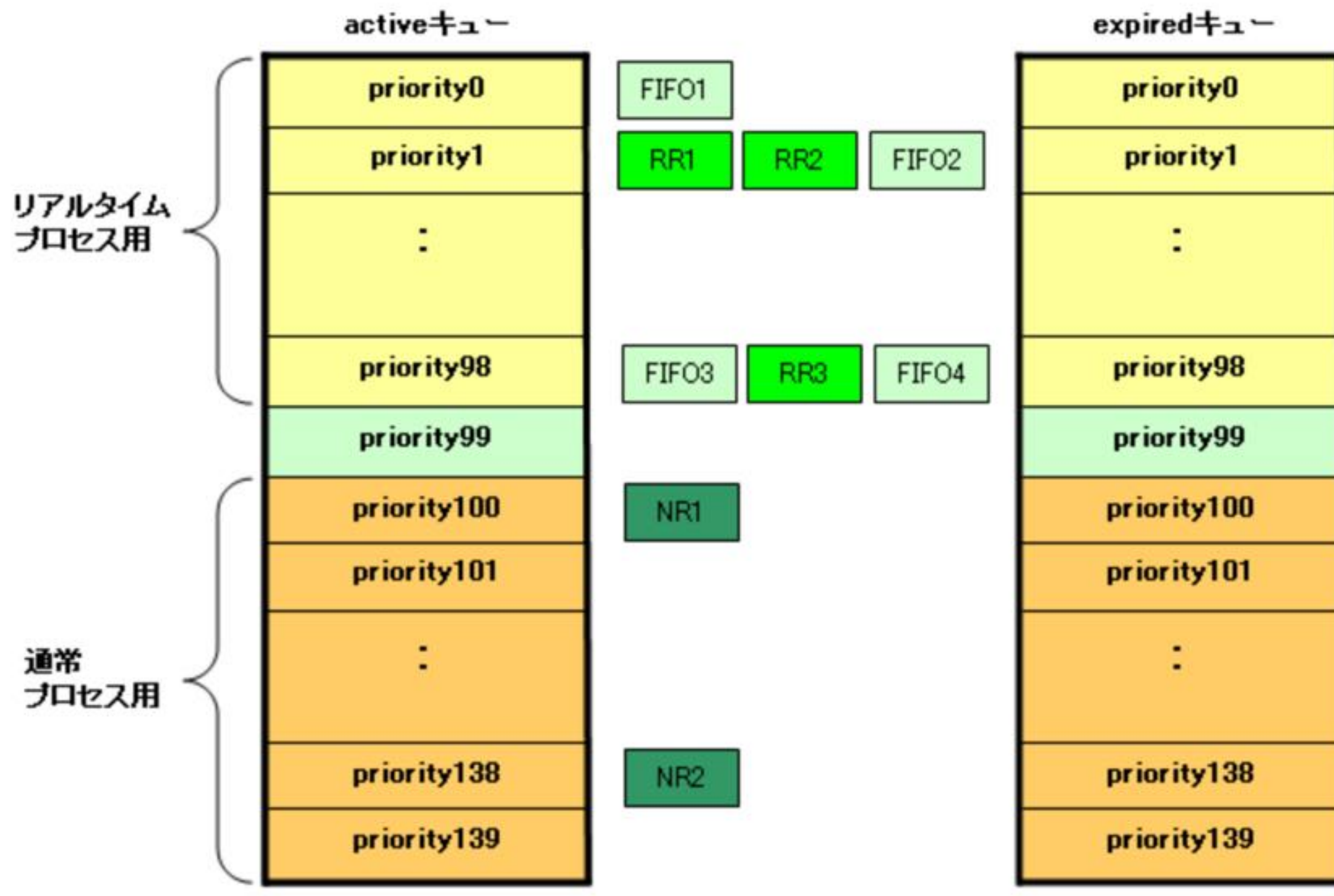


16.6. O(1)スケジューラのスケジューリングポリシーによるプロセスの実行順番

実行中のプロセスが以下の図のようにになっていた場合の実行順番を例に説明します。
 ※図中の「NR1」「NR2」は通常プロセスを表します。

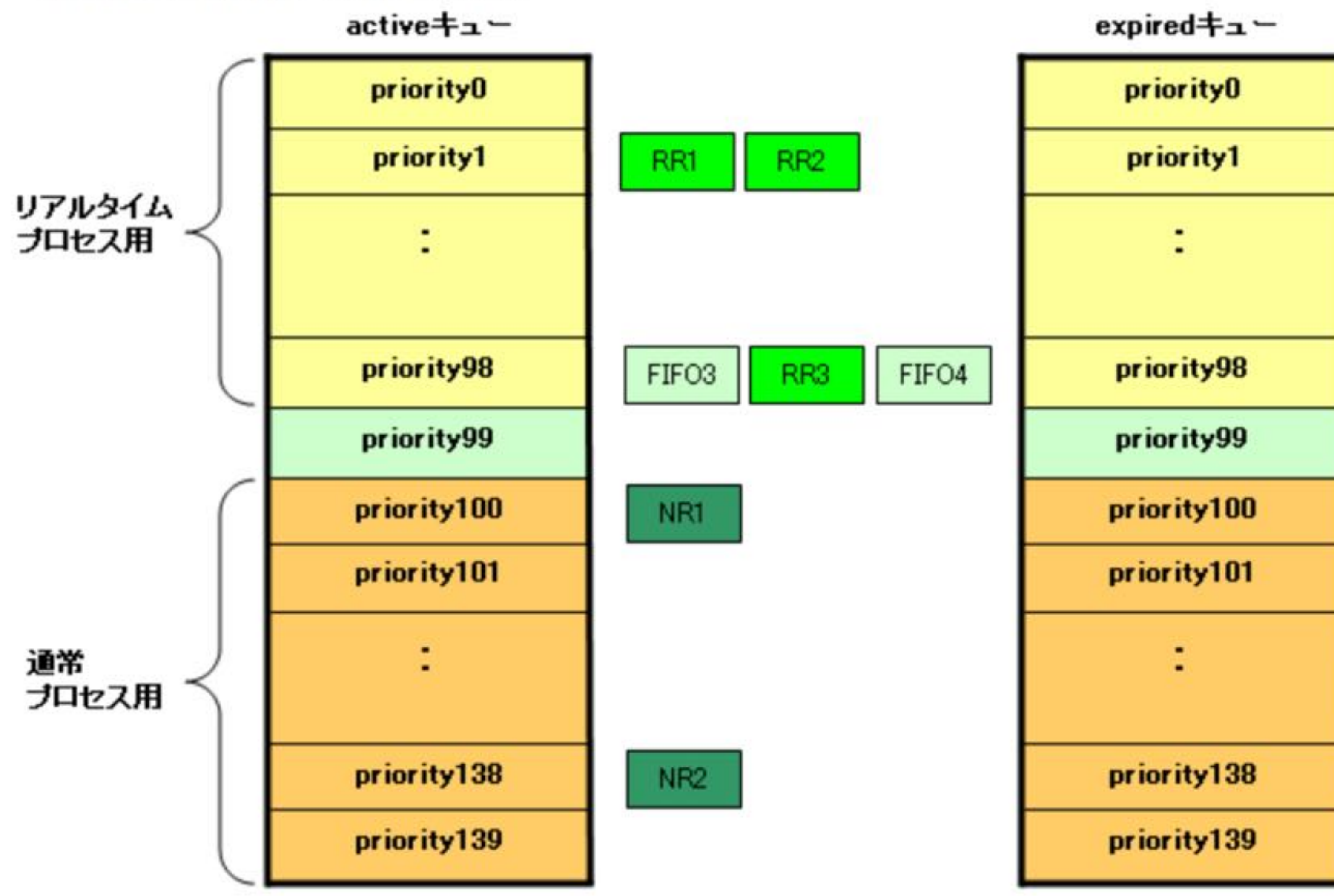


優先度が高い順に

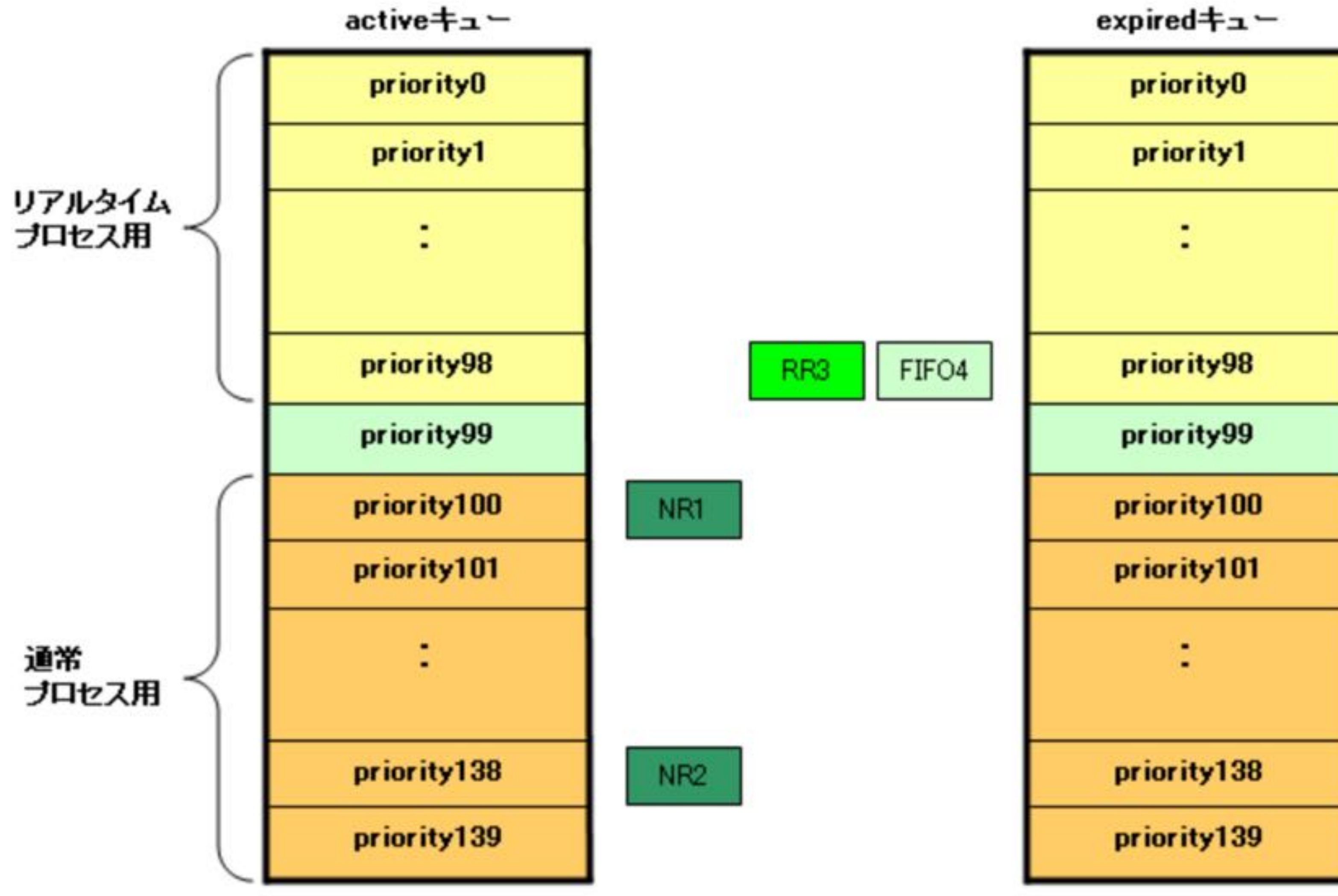
- FIFO のリアルタイムプロセス1
- RR のリアルタイムプロセス1、RR のリアルタイムプロセス2、FIFO のリアルタイムプロセス2
- FIFO のリアルタイムプロセス3、RR のリアルタイムプロセス3、FIFO のリアルタイムプロセス4
- 通常プロセス1
- 通常プロセス2

が実行中となっています。実際の動作は以下の通りです。

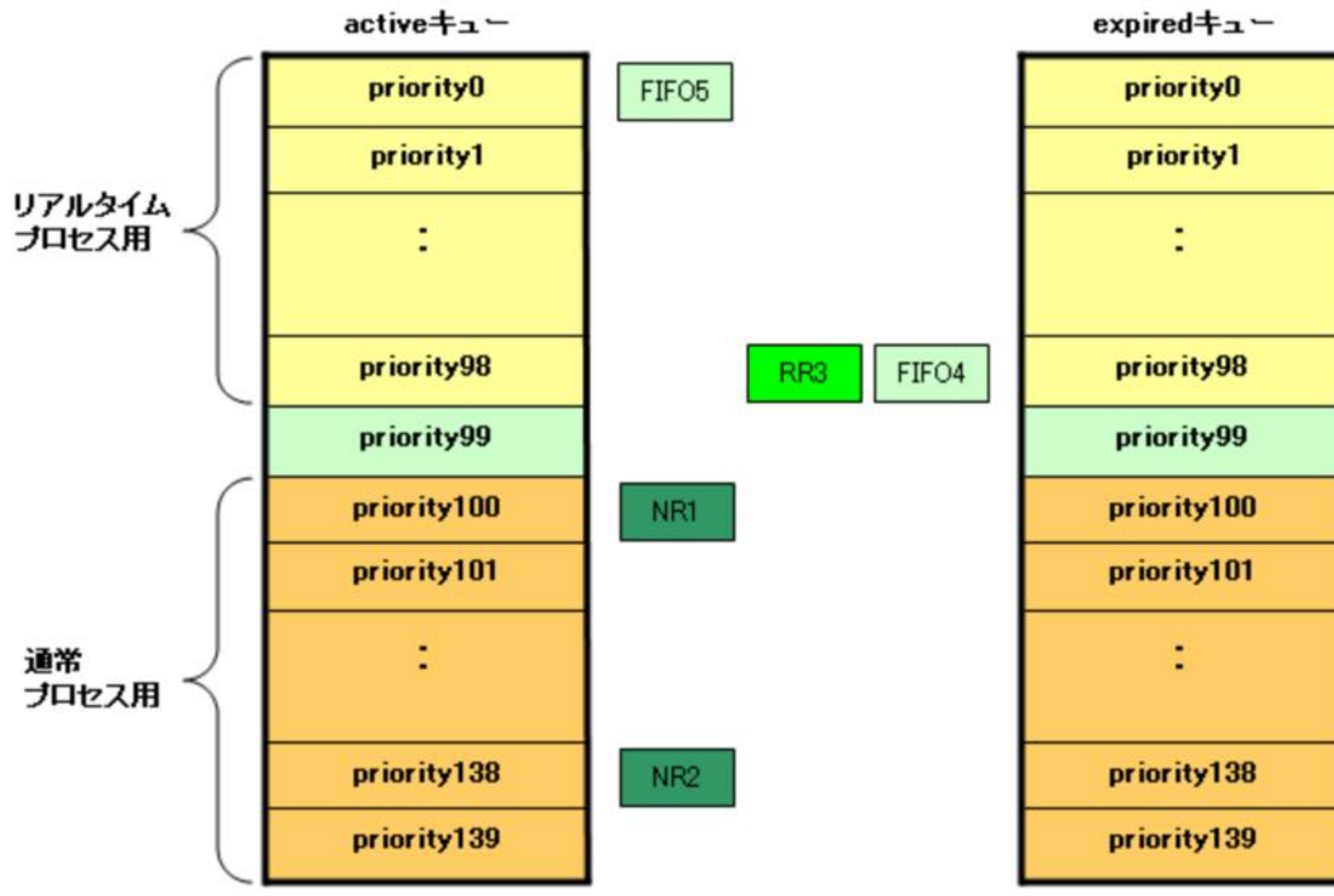
1. FIFO のリアルタイムプロセス1
2. RR のリアルタイムプロセス1(未完了)
3. RR のリアルタイムプロセス2(未完了)
4. FIFO のリアルタイムプロセス2



5. RR のリアルタイムプロセス1
6. RR のリアルタイムプロセス2
7. FIFO のリアルタイムプロセス3
8. RR のリアルタイムプロセス3(未完了)



8の実行中に優先度が最も高い FIFO のリアルタイムプロセス5 が割り込んだとします。

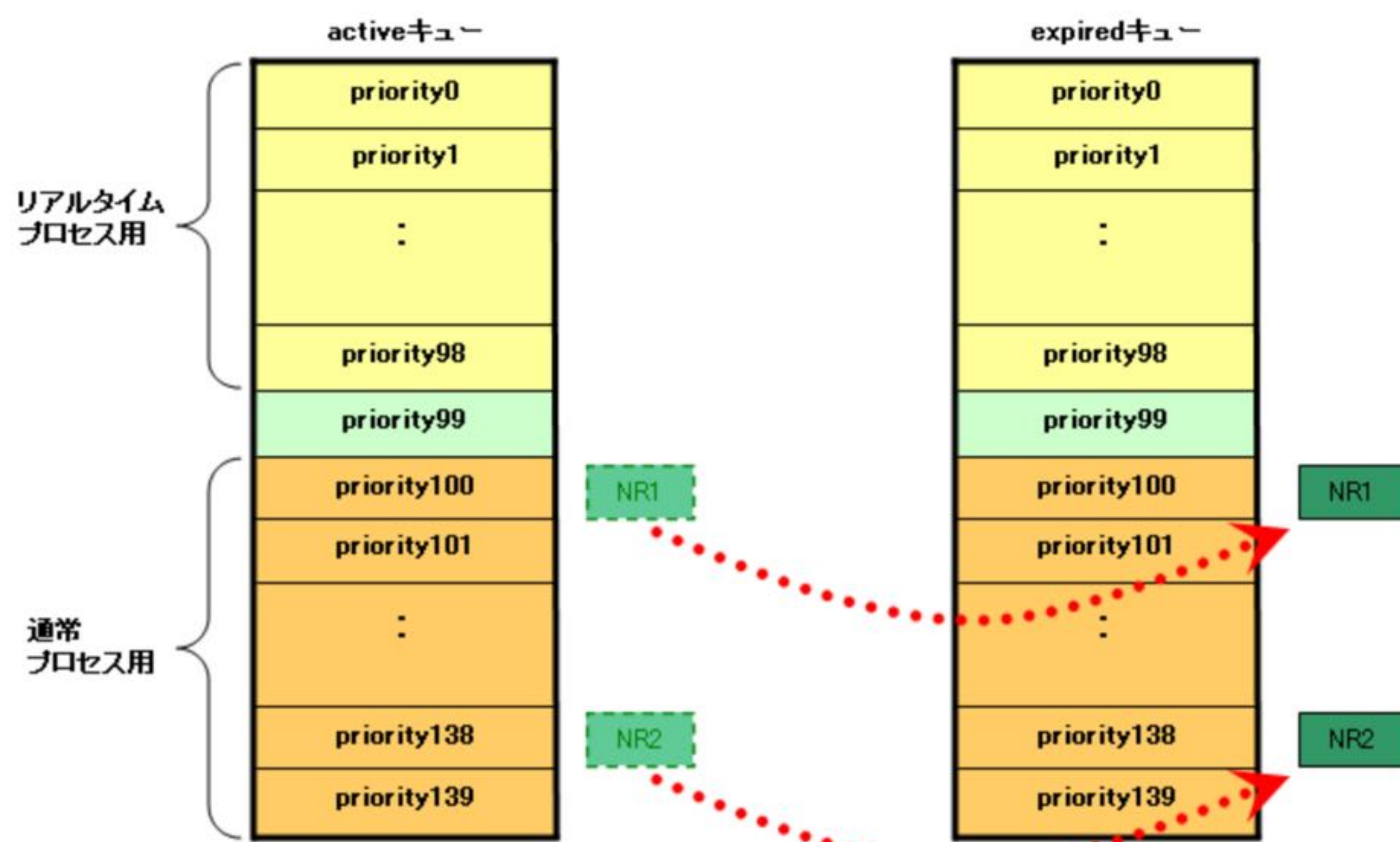


すると、本来は FIFO のリアルタイムプロセス4 が実行されるどころが、

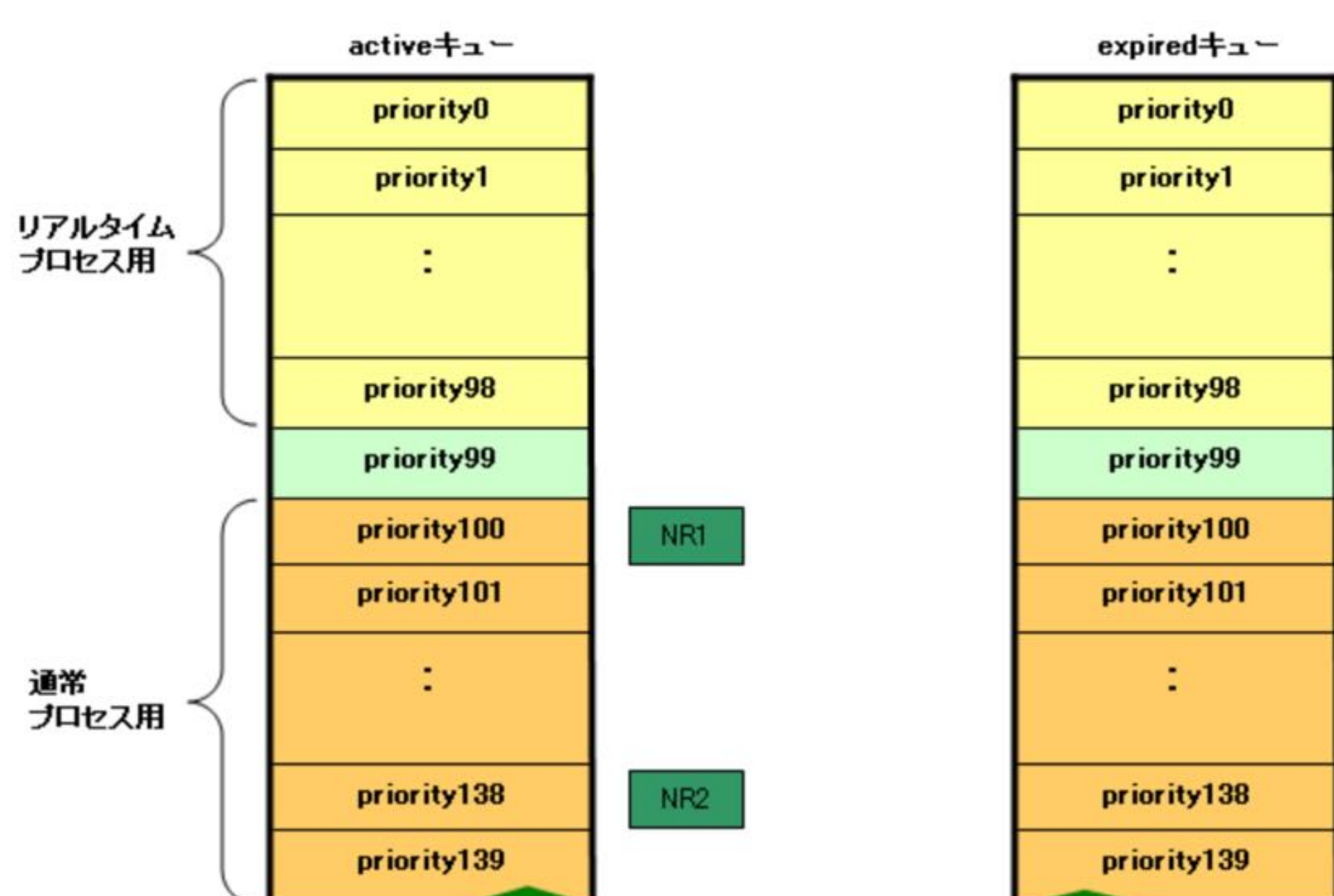
9. FIFO のリアルタイムプロセス5

が実行されます。続いて以下の通りに処理されます。

10. FIFO のリアルタイムプロセス4
11. RR のリアルタイムプロセス3
12. 通常プロセス1(未完了)
13. 通常プロセス2(未完了)



14. active キュー と expired キュー を入れ替える



15. 通常プロセス1
16. 通常プロセス2

